第24回 令和8年度 全日本ゼネラルチャンピオン賞

全国1位 ―― ダイヤモンドマーク賞

大橋憲夫鳩舎（濃尾連盟・岐阜県連合会）



全国 1位
2回目

97年以来の2度目の日本一戴冠！

獲得ポイント 8pt

入賞率：0.54511

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	❶24SC02620	B	♀	566羽	5位	0.00883
	❷24SC02628	BC	♀	566羽	12位	0.02120
	❸25SC02357	B	♀	566羽	100位	0.17668
地区N	❹24SC02628	BC	♀	229羽	5位	0.02183
	❺24SC02620	B	♀	229羽	7位	0.03057
	❻25SC02307	BC	♀	229羽	31位	0.13537
GP	❼25SC02307	BC	♀	67羽	7位	0.10448
桜花賞	❽24SC02628	BC	♀	65羽	3位	0.04615

大橋憲夫鳩舎（岐阜県連合会）のプロフィール

鳩　　歴：60年　**レース歴**：59年
鳩舎規模：種　鳩 7.5坪80羽・選手鳩 6坪130羽
主力系統：ヤンセン系
代表翔歴：日本最優秀鳩舎賞１回他、日本優秀鳩舎賞4回
スーパーエクセレントピジョン
全日本ゼネラルＣＨ賞・ベストマーク賞
Ｒｇ・地区Ｎ・ＧＰ・ＣＨ・ＧＮ各総合優勝
26年春Rgからの参加羽数：44羽

マーク賞は大橋憲夫鳩舎（岐阜県連合会）に決定――！

かつての日本一がダイヤモンドマーク賞

自ら選び抜いたマーク鳩の成績で覇を競う――。鳩レースの本場・ベルギーであれば、それは王者を決めるにふさわしい、まさに頂点の争いであろう。しかし、すでに日本には、三賞をはじめ、日本優秀鳩舎賞という最高賞が存在していた。そうしたなか、03年に創設されたのが、マーク鳩を対象とする全日本ゼネラルCH賞である。ベルギーにおけるマーク競技の価値を意識しつつ、まずは全会員に門戸を開く、いわば間口の広いタイトルとして歩みを始めた。

とはいえ、当然その頂点に立つことは決して容易ではない。地域による条件差や参加羽数の多寡を極力排し、選鳩眼と鳩作りの確かさを競う仕組みだからである。歴代最多となる17回の受賞を果たし、そのうち13回もダイヤモンドマーク賞に輝いた〝若大将〟こと及川茂鳩舎（新日本）。このスーパースターが、長く絶対王者として君臨してきた事実だけでも、同賞が真の実力者を選び出すタイトルであることは十分に証明されている。

ところが、制度が目指した理想と現実の評価との間には、長らく隔たりがあった。日本優秀鳩舎賞と肩を並べるタイトルとして構想されながら、実際にはそこまでの評価を得られず、一段低く見る向きさえあったのである。しかし近年、競翔家の意識が成熟したためか、その価値は改めて見直されつつある。日本優秀鳩舎賞やブロックCH賞の受賞経験を持つ名だたる強豪が、相次いで挑戦を開始。かつて6点前後で推移していたベストテンのボーダーは7点にまで上昇し、競争のレベルは明らかに高まっていた。

ただし、その高水準化が思わぬ事態も招いた。昨年度は、絶対王者の及川鳩舎をはじめ、多くの鳩舎が「6点ではベストテンに届かない」と判断し、申請を見送ったのである。互いに譲り合ってボールを落としてしまう、バレーボールの「お見合い」にも似た状況だった。その結果、4点でベストテン入りするという珍事が起きた。

その反省もあり、令和8年度は6点以上を獲得した鳩舎から申請が相次いだ。最終的なボーダーは6点となったものの、その得点で受賞したのはわずか1鳩舎。他8点が3鳩舎、7点が6鳩舎という内訳となった。なかでも目を引いたのが、ベストテンのうち7枠を占めた埼玉連盟勢である。そのなかから鈴木周一鳩舎（埼玉中央）と外山芳和鳩舎（埼玉吉川）が8点を獲得し、日本一争いへと名乗りを上げた。**大橋憲夫鳩舎（岐阜県）**を加え、勝負は三つ巴に。そして、全日本ゼネラルCH賞の頂点――ダイヤモンドマーク賞に輝いたのは、その大橋鳩舎であった。

同鳩舎は、数多くの総合優勝と上位入賞を誇る強豪として知られている。97年には、岩田誠三鳩舎や増田和雄鳩舎といった、当時の鳩界を代表する大規模鳩舎に少数精鋭で挑戦。地元鳩界で初となる日本最優秀鳩舎賞に選出された。日本優秀鳩舎賞にも通算3度名を連ねており、その実力が日本のトップクラスにあることは疑いようがない。しかし近年は、競翔団体全体の参加羽数が減少したことから、全国タイトルを狙う軸足を全日本ゼネラルCH賞へと移した。17年度にはベストマーク賞に選出され、同賞での初受賞を果たしている。

そして今回、大橋鳩舎は、新井繁鳩舎（埼玉北辰）に次ぐ史上2人目の快挙を達成した。日本最優秀鳩舎賞とダイヤモンドマーク賞――。その双方を制する「日本一二冠」を成し遂げたのである。

最大の勝因はヤンセン！

最大の勝因として大橋鳩舎が挙げたのは、鳩作りそのものを変えたことだった。かつては異なる系統を組み合わせるハイブリッド交配を重ねていたが、その代償からか、00年代に入ると成績が低迷。鳩作りの土台そのものが揺らぎ始めていた。その苦境を救ったのが、偶然手に入れた1羽の純ヤンセン系である。

「それは笠原（通孝）さんの作出鳩でしたジル・ウォーターの〝オールドメルクス〟重近親のラインと、試験的に純ヤンセン同士で配合したところ、それまでにないほどバランスの良いトリが次々と生まれました。これなら、当時全盛だった藤田（淳一）さんや神谷（中）さんたちと勝負できるのではないか。そう思い、それからヤンセンの研究に没頭しました。切れ味とバランスの良さに魅了され、しかも成績もそれまで以上に出るようになった。気がつけば、ヤンセンばかりになっていましたね」。

ヤンセンとの出会いは、大橋鳩舎のレース鳩に対する価値観を一変させた。より純粋なものに近づけるため、配合もインブリード中心へと転換。形質の固定化を進めたことで、バランスに優れ、疲労が残りにくく、レースを重ねても状態を崩しにくい肉質の鳩が生まれるようになったという。そうした特性こそ、複数の規程レースでポイントを積み重ねる全日本ゼネラルCH賞に合致した――。それが大橋鳩舎の見解である。

「また、このようなタイプが増えたことで、地区品評会では初めて総合1席を獲得することができました。並河 靖氏をはじめとする鳩界の大先輩たちが、なぜ最後にヤンセンへとたどり着いたのか。今ならよく分かります」。

現在、種鳩の約9割がヤンセン系で占められている。その根幹をなすのが、〝アウデ・メルクス〟の血を近親に重ねた、前述の配合――「03HK0653×05SA0807O」である。

今回、ダイヤモンド・マーク賞をもたらしたポイントゲッターも、すべてこの基礎カップルの流れをくむ。共通の血統背景を持つからこそ、マーク鳩の選定では、個体そのものを見極めた。最も重視したのは、規程レースが始まる前の300Kまでに見せた安定感。次いで、わずかに楕円を帯びた瞳孔（＊大橋鳩舎の研究では安定感のあるタイプ）、明瞭なアイサイン、そして軽い鳩体を判断材料とした。

そのなかで別格の成績を収めたのが、**「24SC02628（2・4・8）」**である。本家、ヤンセンで活躍鳩に多く見られたとされる「リヒテ」の羽色を持つ同鳩は、総理大臣賞連盟1位に加え、日本AP賞でも8％台の入賞率で規程をクリア。複数のレースで安定して力を発揮する、まさにスーパーゼネラリストである。

「このトリは、第1虹彩にギザギザがないため、切れ味よりも安定感に優れたタイプです。その特性が総理大臣賞や日本AP賞の規程クリアにつながったのだと思います。ただ、実は300Kでは総合優勝もしているんですよ」。

ポイントゲッター総覧

③Rg　566羽中総合100位

25SC02357　B　♀　大橋憲夫鳩舎作翔

26年春300K総合2位　全姉妹／25SC02307（⑥・⑦）

⑥地区N229羽中総合31位
⑦GP　67羽中連盟7位

25SC02307　B　♀　大橋憲夫鳩舎作翔

26年春Rg総合8位　全姉妹／25SC02357（③）

- →21SC05111　B　大橋憲夫作
  - →“白爪バイオレット”　13SA09181　B　大橋作
    - →19SA05669 BC　大橋作翔
      Rg400K総合6位　ヤンセン系
  - →“グランプリ61号”　20SC04061　BC　大橋憲夫作翔
    21年GP700K総合優勝
    - →“白爪バイオレット”（上記）
    - →15SA03496　BC　大橋作　全妹／09SA18020（下記）
      - →03HK06653　BC　笠原通孝作　大橋鳩舎基礎鳩
        “オードメルクス”（優勝7回）重近親
      - →05SA08070　BC　大橋作
        “オードメルクス”（上記）重近親

①Rg　566羽中総合5位
⑤地区N229羽中総合7位

24SC02620　B　♀
大橋憲夫鳩舎作翔

*26年会長賞　シルバーエクセレントピジョン　連盟最優秀鳩
25年秋200K総合優勝

- →21SC02546　B　大橋憲夫作翔　Rg400K総合6位
  - →20SC04032　BC　大橋作　ヤンセン系
  - →18SC00418　大橋作翔　ヤンセン系
    地区品評会総合一席
    300K総合4位、Rg総合8位
    300K総合優勝×
    15年秋Rg総合優勝の母（09SA18020の娘）
- →19SC05755　B　大橋憲夫作
  全兄の娘／19年GP700K総合優勝
  - →04SA11024　B　大橋作
    “ホワイトウィング”（SC600K総合優勝）×
    “ミドルクィーン”（地区N700K総合優勝）
  - →“リトルヤンセン”　14SA05719　BC　大橋作翔
    15年地区N600K総合優勝・2連盟最高分速
    05MA09562×09SA18020（下記）全妹
    異母姉の孫／“デイテンダブル”（②・④・⑧）



②Rg　566羽中総合12位
④地区N229羽中総合5位
⑧桜花賞　65羽中総合3位

ベストポイントゲッター！

“デイテンダブル”
24SC02628　リヒテ　♀

26年総理大臣賞・協会賞杯連盟1位
300K総合優勝
25年秋200K総合4位
春CH900K総合15位

- →16SC02169　BC　大橋憲夫作翔　地区N600K総合93位
  - →14SA06292　BC　大橋作
    03HK06653（下記）×“シャンテリー”の孫
  - →10SA19175　BC　大橋作　SC600K総合9位
    異母妹の孫／24SC02620（①・⑤）
    - →05MA09562　BC　興松作
      大橋鳩舎基礎鳩　“スーパー409号”の直仔
    - →09SA18020　BC　大橋作翔・基礎鳩
      10年地区N700K総合3位
      - →03HK06653　BC　笠原通孝作　大橋鳩舎基礎鳩
        “オードメルクス”重近親
      - →05SA08070　BC　大橋作　“オードメルクス”重近親
- →15SA03423　B　大橋憲夫作翔
  300K総合10位、SC400K総合9位
  - →13DA17337　BC　新実作　会長賞×“ド・プルト”娘
  - →13SA09100　B　大橋作翔　200K4,099羽中総合優勝
    09SA18020（上記）全兄弟の娘

しかも、その300Kでは、レースの2日前に鳩舎が害獣に襲われ、影響から帰還後の入舎に10分以上を要した。それでも総合優勝を果たしたのだから、記録以上の圧勝だったことになる。

10年以上にわたってヤンセンを研究してきた大橋氏をして、「ここまでのトリは初めて」と言わしめた1羽。同氏は「24SC02628」を、自鳩舎における最高傑作と評価している。

打倒・大橋鳩舎で燃えてほしい！

こうして、自身2度目となる日本一を手にした大橋鳩舎。さらに今季は、メインレースのCHで当日唯一羽帰りによる総合優勝を達成した。この勝ち方もまた、自鳩舎にとって初めてのことだった。ヤンセンとの出会いを転機として、今まさに円熟の全盛期を迎えているといってよいだろう。

取材では、現在の成果をもたらしたあらゆる縁への感謝を口にした。その一方で、視線はすでに自身の栄光を超え、地元鳩界の未来へと向けられていた。

「濃尾連盟では昨年、稚内からのレースが成立するなど、鳩レースへの気運が高まっています。そこに私が日本一を獲ったことで、これからは協会タイトルを意識する人も増えるはずです。ぜひ『打倒・大橋鳩舎』を掲げ、燃えてほしいですね」。

そして9月26日、上野精養軒で総合表彰式が開催される。大橋鳩舎は、ダイヤモンドマーク賞受賞者として晴れの舞台に立つ。97年の受賞時にはなかった“日本一の証”「栄光のカーペット」。その喜びを存分に味わい、前述のコメントにあった自身に対する包囲網を突破する活力としていただきたい。

第41回 全国高校生鳩レースグランプリ



全国2位 初受賞

獲得ポイント 8pt

鈴木周一鳩舎
（埼玉連盟・埼玉中央連合会）

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	❶22KA03580	DC	♀	7372羽	310位	0.04205
	❷23KA23438	B	♀	7372羽	1080位	0.14650
	❸24KA14919	BC	♀	7372羽	1203位	0.16319
地区N	❹22KA03580	DC	♀	5238羽	158位	0.03016
	❺24KA14964	BC	♀	5238羽	101位	0.01928
GP	❻24KA14964	BC	♀	3118羽	160位	0.05131
	❼22KA03580	DC	♀	3118羽	298位	0.09557
桜花賞	❽24KA14964	BC	♀	967羽	16位	0.01655

日本AP賞の誕生により日本2位！

仕事が落ち着き、鳩レースに打ち込める環境が整ったことで、その才能は一気に開花した。23年、日本優秀鳩舎賞を受賞し、全国の舞台に鮮烈なデビューを飾った**鈴木周一鳩舎（埼玉中央）**。26年にはさらなる飛躍を遂げ、ついに協会三大最高賞の完全制覇を達成した。なかでも全日本ゼネラルCH賞では、最高得点となる**「8点」**を獲得。大橋鳩舎らと日本一の座を争い、初受賞ながら全国2位にあたる「プラチナマーク賞」に選出された。

そのマーク鳩の選び方は、まさに王道と呼ぶにふさわしいものだった。判断材料としたのは、「データ」と「コンディション」の両面である。データ面では、規程に定められた「20％以内」の成績を念頭に置き、一戦での切れ味よりも、安定して上位に入る力を重視した。そのため、マークしたのは実績のある成鳩のみ。さらに、自鳩舎の飼育環境を踏まえてメスに絞り、個体の成績だけでなく、一族が残してきた実績にも目を向けた。一方、コンディション面では、「舎外での飛び」「筋肉の張り」「目の輝き」の3点を見極めたという。

こうしてポイントを獲得したのは4羽。そのなかで最大の貢献を果たしたのが、**「24KA14964（❺・❻・❽）」**である。このトリは、今回の日本優秀鳩舎賞受賞を決定づけただけでなく、日本AP賞でも全国3位に選出。鈴木鳩舎自身も、最高傑作と呼べるこの1羽の誕生こそが、今回の躍進をもたらした最大の要因と捉えているようだ。

ポイントゲッター総覧

❶Rg　7,372羽中総合310位
❹地区N　5,238羽中総合158位
❼GP　3,118羽中総合298位

22KA03580　DC　♀
鈴木周一鳩舎作翔
東日本CH総合243位、1039位、950位

→18KA24739　DC　鈴木周一作
　中田ボルドー系×吉澤正義作
→21KA15536　BC　井草　勇作
　→20KA25322　スレート　井草作翔
　　21年地区N600K中地区優勝
　→20KA28728　BC　井草作翔　21年春400K優勝

❷Rg　7,372羽中総合1080位

23KA23438　B　♀
鈴木周一鳩舎作翔
25年東日本CH総合774位

→21KA19226　B　鈴木周一作翔
　400K優勝　鈴木作×松本二郎作
→21HK09663　BC　武田歳和作
　→B08-6321102　PB　ロードホフ作　“トム”の直仔
　→14HL00887　BC　矢嶋英夫作
　　“カニバール”の直仔×同孫

❸Rg　7,372羽中総合1203位

24KA14919　BC　♀
鈴木周一鳩舎作翔
25年東日本CH総合1327位
全姉妹／24KA14964（❺❻❽）

❺地区N　5,238羽中総合101位
❻GP　3,118羽中総合160位
❽桜花賞　967羽中総合16位
ベストイントゲッター

“マシン・スリーS”
24KA14964　BC　♀　鈴木周一鳩舎作翔
26年日本AP賞全国3位
全姉妹／24KA14919（❸）

→21KA18267　BC　松本二郎作
　→“マシン・サード”　BC　松本作翔
　　東日本稚内GN総合92位
　　“稚内サード”（東日本稚内GN総合3位）の曾孫
　→14LH01106　DCW　米倉作
　　“スーパーベン”の3重近親
→20KA30098　B　鈴木周一作翔
　200K優勝、GP700K 4位
　モイレマン系×中尾 剛作（ヨス・トーネ系）

鈴木周一鳩舎（埼玉中央連合会）のプロフィール

鳩　歴：48年　**レース歴**：55年
鳩舎規模：種　鳩 3坪50羽・選手鳩 4坪100羽
主力系統：モイレマン系、ヤンセン系、中田ボルドー系、ヨス・トーネ系
代表翔歴：日本優秀鳩舎賞2回（23年・26年）
　日本エースピジョン賞全国3位
26年春Rgからの参加羽数：81羽



全国3位 初受賞

外山 芳和鳩舎

（埼玉地区連盟 埼玉吉川連合会）

獲得ポイント 8pt

合計入賞率：0.63031

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	❶25KA26376	PBW	♀	7372羽	568位	0.07705
	❷24KA06587	B	♀	7372羽	1225位	0.16617
	❸24KA06062	B	♀	7372羽	981位	0.13307
地区N	❹25KA26376	PBW	♀	5238羽	12位	0.00229
	❺24KA06587	B	♀	5238羽	100位	0.01909
	❻24KA06072	BC	♀	5238羽	262位	0.05002
GP	❼24KA06072	BC	♀	3118羽	147位	0.04715
桜花賞	❽24KA06072	BC	♀	967羽	131位	0.13547

初の協会最高賞受賞で日本3位！

鳩界の重鎮である父・敏雄氏と親子鷹として、長年、埼玉連盟の第一線で戦い続けてきた**外山芳和鳩舎（埼玉吉川）**。とりわけ中距離レースに強く、21年にはRg、地区Nで連続総合優勝という離れ業を演出した。これは、連盟史上2鳩舎目となる快挙である。

今回の全日本ゼネラルCH賞では、最高得点となる**「8点」**を獲得し、日本一の座を巡る三つ巴の争いを演じた。結果は全国3位。「ゴールドマーク賞」に選出された。これほどの実績を誇りながら、協会最高賞の受賞は意外にも今回が初めて。日本3位という鮮烈なデビューを飾ったのである。

マーク鳩の選定に用いたのは、王道ともいえる「データ」と「コンディション」だった。成鳩だけに限定せず、前年の成績を重視。そのうえで、持ち寄り前日の仕上がりを見極め、最終的な判断を下したという。

選ばれたエースのうち、ポイントを獲得したのは4羽。敬愛する富野次夫鳩舎由来の輸入系では、〝オリンピアード003〟の血が躍動した。その一方で、最大の貢献を果たしたのは、別系統で構成された**「24KA06072（❻・❼・❽）」**である。この1羽には、〝ラッキールーク〟、〝トリプルエース〟、〝ギルバード〟といった超銘鳩の血がダイレクトに脈を打つ。このベスト然り、外山鳩舎がヨーロッパの最前線で活躍する飛び筋を的確に取り入れてきたことがわかるポイントゲッター陣だ。

現在、外山鳩舎を担う芳和氏は、鳩界では若手世代にあたる。父とともに築いた礎の上に、自らの感性で新たな血を重ねる――。今回の全国3位は、新時代の到来を鮮やかに告げるものとなった。

ポイントゲッター総覧

❶Rg　7,372羽中総合568位
❹地区N 5,238羽中総合12位

25KA26376　PBW　♀
外山芳和鳩舎作翔

- →23HF04005　BC　荒井英夫作　全兄弟／Rg総合優勝2羽
  - →NL16-1864976　B　ドブルイン作
    "オリンピック・ハリケーン"の孫
  - →17HF00238　BC　荒井作　ヤンセン系
- →B21-6232241　B　レオ・ジュアン作
  - →B19-6124790　("キッテル"×"オリンピックロシータ")×"オリンピックロシータ"全姉妹
  - →B13-6307923　B　"オリンピアード003"の孫×"ヤン"の孫

❷Rg　7,372羽中総合1225位
❺地区N　5,238羽中総合100位

24KA06587　B　♀　外山芳和鳩舎作翔

- →20KA12621　B　外山芳和作　全兄弟／**八郷・国際親善500K優勝**
  - →13KA38491　BC　富野次夫作　"デカプロ"×コープマン作翔
  - →B11-6094078　B　レオ・ヘレマンス作　"オリンピアード003"の孫
- →22LC09039　B　武田孝幸作翔
  全姉妹／**八郷・オリエンタルカップ優勝**
  - →21KA05325　BW　富野次夫作　"カウボーイ05"全兄弟の直仔
  - →15KA05620　富野作
    モンリュソン3位(ファンローイ作)×"カイモック"の半姉妹

❸Rg　7,372羽中総合981位

24KA06062　B　♀　外山芳和鳩舎作翔

- →B18-6084309　B　ファンダイク作翔
  キエブラン4位、5位　"ディカプリオ"の直系
  直仔／地区N総合優勝
- →"レジョナル・ドリームII"　B　外山芳和作翔
  22年春Rg400K総合優勝
  "ゴールドハリー"の直仔×"ジェイコブ"の娘

ベストポイントゲッター！

❻地区N　5,238羽中総合262位
❼GP　3,118羽中 総合147位
❽桜花賞　967羽中 総合131位

24KA06072　BC　♀　外山芳和鳩舎作翔

- →20KA17091　DC　富野次夫作
  - →B16-6255585　DC　ティスニック・ロジャー作
    スープ優勝×ツールN81位
  - →"ベティー"　G　ボスマス&リーケンス作翔
    400K3,353羽中優勝
    "ラッキールーク"の直仔×"トリプルエース"の娘
- →B19-2055391　DC　G&Y・ド・ビショップ作
  - →B16-2300020　BC　G&Y・ド・ビショップ作
    全兄弟／"ブリクセム・ブラッキーI"
  - →B17-2033112　BC　G&Y・ド・ビショップ作
    "ギルバード"(10年ボルドーIN優勝他)の孫

外山芳和鳩舎(埼玉吉川連合会)のプロフィール

鳩　歴：一年　レース歴：一年
鳩舎規模：種　鳩 3坪120羽・選手鳩 4坪140羽
主力系統：レオ・ヘレマンス系、フェルストラーテ系、ドブルイン系
　ルド・クラーセン系、富野輸入系、ファンダイク系
代表翔歴：秋Rg、春Rg、地区N各総合優勝、シルバー賞
26年春Rgからの参加羽数：72羽

ンピオン賞 ベストマーク賞 全国4位～10位

全国4位 3回目 鈴木 隆鳩舎
（埼玉連盟 埼玉北葛連合会）

獲得ポイント 7pt
合計入賞率：0.40389



レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	24KA03610	BC	♀	7372羽	517位	0.07013
	23KA14005	B	♀	7372羽	914位	0.12398
地区N	23KA15866	B	♀	5238羽	72位	0.01375
	23KA14005	B	♀	5238羽	115位	0.02195
	24KA03610	BC	♀	5238羽	183位	0.03494
GP	23KA15866	B	♀	3118羽	350位	0.11225
桜花賞	23KA15866	B	♀	967羽	26位	0.02689

全国5位 2回目 三宅 良治鳩舎
（瀬戸内連盟 岡山中央連合会）

獲得ポイント 7pt
合計入賞率：0.50772



レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	24VV00047	BC	♀	252羽	7位	0.02778
	24VV00045	BC	♀	252羽	23位	0.09127
	25VV00020	B	♀	252羽	30位	0.11905
地区N	25VV00020	B	♀	155羽	28位	0.18065
GP	24VV00047	BC	♀	42羽	1位	0.02381
	25VV03329	BC	♀	42羽	2位	0.04762
桜花賞	25VV03249	BC	♀	57羽	1位	0.01754

全国6位 2回目 小田 義光鳩舎
（埼玉連盟・埼玉北辰連合会）

獲得ポイント 7pt
合計入賞率：0.51608



レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	24KA16081	BC	♂	7372羽	1142位	0.15491
	24KA16151	B	♀	7372羽	940位	0.12751
	25KA07625	B	♂	7372羽	45位	0.00610
地区N	25KA05163	B	♀	5238羽	237位	0.04525
GP	25KA05165	BCW	♂	3118羽	88位	0.02822
桜花賞	24KA16165	BC	♀	967羽	55位	0.05688
	25KA05166	BCW	♀	967羽	94位	0.09721

全国7位 5回目 冨田 欣宏鳩舎
（埼玉連盟 埼玉北葛連合会）

獲得ポイント 7pt
合計入賞率：0.53088



レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	25KA20601	BC	♂	7372羽	870位	0.11801
	25KA20656	BC	♀	7372羽	330位	0.04476
	25KA20648	B	♀	7372羽	439位	0.05955
地区N	25KA20656	BC	♀	5233羽	571位	0.10912
	25KA20633	BC	♀	5233羽	275位	0.05255
GP	25KA20601	BC	♂	3118羽	258位	0.08275
	25KA20604	RC	♂	3118羽	200位	0.06414

全国8位 2回目 長坂 隆志鳩舎
（埼玉連盟 埼玉北辰連合会）

獲得ポイント 7pt
合計入賞率：0.73715



レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	24KA18633	BC	♀	7372羽	433位	0.05874
	23KA22582	BC	♂	7372羽	438位	0.05941
	23KA19562	BC	♂	7372羽	1226位	0.16630
地区N	24KA18633	BC	♀	5238羽	505位	0.09641
	23KA22582	BC	♂	5238羽	564位	0.10767
	23KA22572	BC	♀	5238羽	973位	0.18576
GP	23KA19562	BC	♂	3118羽	196位	0.06286

第24回 令和8年度 全日本ゼネラルチャ



全国 9位 初受賞

芝崎 元彰鳩舎
（埼玉連盟 埼玉北葛連合会）

獲得ポイント 7pt
合計入賞率：0.95727

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	24KA05782	BC	♀	7372羽	305位	0.04137
	24KA05699	BC	♀	7372羽	1061位	0.14392
	25KA21601	BC	♂	7372羽	1289位	0.17485
地区N	24KA05694	B	♀	5238羽	618位	0.11798
	25KA20432	B	♀	5238羽	929位	0.17736
GP	24KA05682	B	♀	3118羽	433位	0.13887
	24KA05694	B	♀	3118羽	508位	0.16292



全国 10位 2回目

李 根浩鳩舎
（神奈川みなと連盟 川崎連合会）

獲得ポイント 6pt
合計入賞率：0.09574

レース	鳩番号	羽色	性別	参加羽数	順位	入賞率
春Rg	25EM01878	BW	♀	633羽	1位	0.00158
	24EM03381	B	♀	633羽	2位	0.00316
地区N	24EM03424	BC	♀	355羽	3位	0.00845
	24EM03381	B	♀	355羽	7位	0.01972
	24EM03386	B	♀	355羽	20位	0.05634
GP	24EM03381	B	♀	154羽	1位	0.00649

全日本ゼネラルチャンピオン賞・データ

全日本ゼネラルチャンピオン賞受賞回数（3回以上）

17回			
	及川　茂鳩舎		東京中・新日本連合会
6回			
	大高　繁鳩舎		未所属／つくばね・北つくば連合会
	吉村　和道鳩舎		北関東栃木・宇都宮中央連合会
	黒田　哲夫鳩舎		未所属／千葉東・上総連合会
5回			
↑	冨田　欣宏鳩舎	NEW!	埼玉・埼玉北葛連合会
	吉田　三男鳩舎		愛知静岡・東愛知連合会
	磯島　保博鳩舎		瀬戸内・瀬戸内連合会
	鈴木　信義鳩舎		東京東・東京南部連合会
4回			
	横地　光彦鳩舎		静岡・静岡県連合会
	橋本三紀男鳩舎		兵庫県・しらさぎ西連合会
	新井　繁鳩舎		埼玉・埼玉北辰連合会
3回			
	加賀　邦彦鳩舎		宮城北部・一関連合会
	鳥海　武鳩舎		埼玉・埼玉幸手連合会
↑	鈴木　隆鳩舎	NEW!	埼玉・埼玉北葛連合会
	鶴岡　英明鳩舎		未所属／千葉東・成田連合会
	丹羽　和一鳩舎		賛助
	杉山　幸正鳩舎		未所属／静岡・静岡中央連合会
	白井　行弘鳩舎		愛知静岡・東愛知連合会
	加藤　正祝鳩舎		東海・東海連合会
	藤井　孝彦鳩舎		北陸南・福井県連合会
	熊谷　好修鳩舎		北陸南・福井県連合会

※所属は25年時点

令和8年度　受賞外の6ポイント獲得鳩舎

逢坂晴廣鳩舎	北海道南部・函館連合会	6	0.73732
小笠原信悦鳩舎	青森・青森中央連合会	6	0.48805
加藤忠雄鳩舎	埼玉・埼玉北葛連合会	6	0.38487
桝田雅幸鳩舎	千葉東・北総連合会	6	0.53419
古西正二鳩舎	千葉東・千葉若潮連合会	6	0.23615
中田治男鳩舎	しょうなん・南関東連合会	6	0.59646
藤原多功磨鳩舎	兵庫県・社連合会	6	0.49825
松井　誠鳩舎	兵庫県・社連合会	6	0.82442

ダイヤモンドマーク賞歴代受賞鳩舎

年	受賞者	所属	ポイント	入賞率
2025年	吉岡　明鳩舎	千葉・下総中央連合会	9	0.74099
2024年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	9	0.36820
2023年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	10	0.68364
2022年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	10	0.44014
2021年	吉村和道鳩舎	北関東栃木・宇都宮中央連合会	8	0.56056
2020年	――コロナ禍による春レース中止で授賞なし――			
2019年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	9	0.42927
2018年	新井　繁鳩舎	埼玉・埼玉北辰連合会	9	0.54017
2017年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	8	0.24776
2016年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	9	0.28629
2015年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	9	0.31482
2014年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	9	0.52200
2013年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	8	0.25992
2012年	横地光彦鳩舎	静岡・静岡県連合会	8	0.59994
2011年	――――授賞なし―――――			
2010年	吉田三男鳩舎	愛知静岡・東愛知連合会	9	0.93155
2009年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	10	0.40588
2008年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	9	0.40910
2007年	大高　繁鳩舎	東坂東・茨城県西連合会	8	0.33733
2006年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	10	0.29797
2005年	及川　茂鳩舎	東京中・新日本連合会	10	0.20747
2004年	今井雅之鳩舎	兵庫県・姫路連合会	10	0.14929
2003年	今井雅之鳩舎	兵庫県・姫路連合会	9	0.11162

※所属連合会は当時